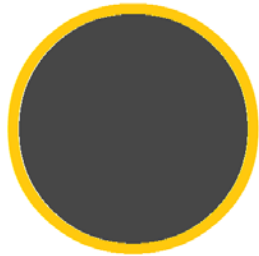


東北大震災で被災をされた方々と一緒に、雄大な天文ショー“金環日食”を楽しもう！

日食メガネを手にする人々に、被災地を思いやる気持ちを伝えよう！

日食メガネ・ウィンクプロジェクト 2012



主催： 熊本高専 CAPP（カップ）団
熊本高専八代キャンパス学生会
協力： 八代教育研究会中学校理科部会
福島県南相馬市社会福祉協議会
福島県南相馬市教育委員会
一般社団法人ヒューマン・タイズ

平成 24 年 5 月 21 日朝、全国各地で金環日食や部分日食が観察できます。金環日食が観察できる中心食帯の北限界線は、熊本県の八代市付近から福島県の南相馬市付近に至ります。

東北大震災の被災地の方々を支援するために多くのボランティアが各地で活躍しています。支援の取り組みには様々なものがあります。

今回の金環日食の食帯が結ぶ縁で、八代から被災地を思いやる気持ちを『形』にして届けよう！



“日食を安全に観察するためには専用の日食メガネが必要です！”

このプロジェクトでは、熊本高専八代キャンパスの学生と八代地域の中学生が協力して、太陽観察用「アストロソーラーフィルター」を使用した日食メガネを作り、被災地の人々や地域の小中学生に届けます。

より多くの人々に配布できるように、片目用の日食メガネ“ウィンクバージョン”にして個数を倍増させ、約 25000 個の日食メガネを作ります。

<主な配布先>

- ・被災地 福島県南相馬市の小中学校と仮設住宅、仙台市周辺の仮設住宅
- ・地元 八代地区の小中学校、八代ナザレ園、熊本高専熊本 C

